

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	46 鹿児島県
市区町村名	
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
46000鹿児島県	②学校と地域の課題	05 その他	- 学校に対する多様な協働活動、地域人材育成、郷土学習、地域行等への参画、放課後等における学習・体験活動、家庭教育支援活動等の多様な活動への取組率63.1% - 県立学校へのCSの導入率1.3% - 全学校種のCS導入率55.6%	1 鹿児島県CS・地域学校協働活動推進委員会の開催 委員12人、年2回開催 2 かごしまCS・地域学校協働活動関係課連絡会の開催 年2回開催 3 かごしまCS・地域学校協働活動研修会の実施 年3回実施 4 広報・啓発資料作成業務委託の実施 5 CSと地域学校協働活動の一体的推進モデル校事業	1 かごしまCS・地域学校協働活動研修会における参加者の増加 令和6年度から「CS・地域学校協働活動研修会」と改め、学校運営協議会委員や教職員の参加を促すことで、前年度比175%の参加者数となった。 2 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進モデル校事業におけるモデル校事業への検証 CSポートフォリオを活用し、モデル校におけるコミュニティ・スクール導入の効果を検証した。	学校運営協議会委員、地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員、学校運営協議会・地域学校協働活動担当職員、社会教育関係団体、教職員を対象として、CSと地域学校協働活動の一体的推進を図るために必要な知識や技術の習得、資質の向上及びネットワークづくりを図り、地域とともにある学校づくりと学校を核とした地域づくりを推進する。	公立学校のCS導入率70%	55.6%	その他	70%	66.5%	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 「かごしまCS・地域学校協働活動研修会」について、本年はCS導入があまり進んでいない鹿児島で開催し、県内全域でのCS普及に努めた。また、令和6年度よりモデル校事業として、県立高校にコミュニティ・スクールを導入しており、今年度の研修会では県立のCS導入校の校長による事例発表を実施した。「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」について教職員及び地域の理解が進んだことで、CS導入促進及び新たな導入へとつながり、令和7年5月1日時点のCS導入率は全国平均を上回った。 今後、一層の普及啓発を進め、県立学校におけるCS導入校の増加や学校運営協議会委員の資質向上を図りたい。	http://www.pref.kagoshima.jp/ba07/cstiikigakkoukyoudoukatudou.html